

長谷小だより

- 3月号 -
平成26年3月4日 発行
神河町立長谷小学校

3月に入りました。旧暦3月を『弥生（やよい）』と呼び、現在でも新暦3月の別名としても用います。由来は、暖かな陽気にすべての草木がいよいよ茂るという意味の「弥生（いやおい）」がつまって「弥生（やよい）」になったとされています。奈良の東大寺では春を告げる行事と言われる“お水取り”も始まるなど、いよいよ春の訪れが実感できる時節になりました。

そして、昨日は『ひな祭り』でした。江戸幕府によって定められた五節句のひとつで、3月上旬の巳の日に災いを人形に移して厄ばらいする「上巳節（じょうしせつ）」と、人形を使ったおままごと「ひいな遊び」が結びつき、のち3日に定まり、宮中の服装や風習を模した人形を飾る「ひな祭り」に発展したようです。ちょうど桃の季節であったことや、桃には邪気払いの力があると信じられていたことから『桃の節句』ともいい、子どもが健やかで優しい女性に育つようにとの願いを込めてひな人形を飾るそうです。



一年に一度のお楽しみ

2月19日は、みんなが（先生も）楽しみにしていたバイキング給食でした。エビフライやたこやき、カップケーキなど、おいしそうなメニューが配膳台にずらりと並べられました。みんなで並んで順番にとっていくと、トレイの上の2枚のお皿がいっぱいになりました。食べる時間もいつもより長かったので、周りの友達と話しながらみんなで楽しくいただきました。当日はみんなの好きなメニューばかりだったこともあって、いつもより早くペロリと食べてしまう子が多かったです。子どもたちからは「めっちゃおいしかった～！」「来年も楽しみやな」という声がたくさん聞かれました。年に1回のうれしいバイキング給食。みんな

の幸せそうな笑顔がたくさん見られて、こちらまで幸せな気持ちになりました。ごちそうさまでした！！

いろいろな勉強をしました

今年の福祉体験活動として、手話体験と点字教室を行いました。1・2年生は身近なことばの手話を教えていただき、最後には全員が自分の名前を手話で発表しました。3～6年生は点字を目で読み取るゲームや点字板で自分の名前や思いつくことばを作りました。これらの体験を通して、全員が耳や目の不自由な方への理解を深め、助け合いや思いやりの心を育めたと思います。

また、2月13日には、前田美佐代助産師さんに「命の大切さ学び教室」の授業をしていただきました。町の事業として、一昨年は全学年を対象に行いましたが、今年は小学校段階できちんと性教育の知識を押さえ、命の大切さを真剣に考えてもらうために、高学年と保護者を対象に授業をしていただきました。

〈 1・2年生 手話体験 〉



〈 3～6年生 点字教室 〉



表彰していただきました

- 〈 兵庫県小学校児童作曲コンクール本選 〉 【佳作】 1名（6年女子）
- 〈 子どもの詩・有本芳水賞 〉 【金賞】 1名（6年女子）
- 〈 読書感想画コンクール 〉 【優秀賞】 1名（4年女子）
- 〈 なかま生活作文コンクール 〉 【入選】 1名（6年男子）
- 〈 神河町文芸祭 〉 【書初めの部・優秀賞】 1名（4年女子）
【書初めの部・入選】 5名（1年女子, 2年男子, 3年男子, 5年女子, 6年女子）
- 【俳句の部・優秀賞】 2名（3年女子, 5年男子）
- 【短歌の部・優秀賞】 2名（5年女子, 6年女子）

[3月の今後の行事予定]

- | | |
|---|----------------------|
| 4日(火) 地区児童会 民生児童委員会
放課後ボランティア委員会 教評委員会 | 17日(月) 卒業式予行 |
| 6日(木) 参観日 期末懇談(希望者) | 20日(木) 平成25年度卒業証書授与式 |
| 12日(木) 6年生を送る会 | 24日(月) 平成25年度修了式 |
| | 29日(土) 砥峰山焼き |